

<天録時評>

ラマダンにジハードを奨励するイスラム教

異教徒へのテロ攻撃を繰り返すイスラム過激派

イスラム過激派がモスクワで市民を多数殺害するテロを行ったように、ラマダン(断食月)の期間中にも世界各地で紛争やテロが頻発している。その要因の一つが、最も神聖な月のラマダンに、善行としての「異教徒との戦い」(ジハード)が推奨されているからだ。「イスラム教は平和な宗教」という単純な認識から脱却しなければ、世界情勢を見誤ってしまう。

海外渡航への注意

今年のイスラム教のラマダンは、ガザでのイスラエルとハマスの休戦が成立するかどうかで注目された。ラマダンはイスラム教の暦の九番目の月の名前で、預言者ムハンマドが初めて啓示を受けた月であり、最も神聖な月とされている。今年は

三月十一日頃から始まり四月九日頃までがラマダーンだ。日本で言えば「おめでとう」と挨拶する月のだが、日本の正月のように単純ではない。

それは外務省の邦人テロ対策室が出る「ラマダン期間中の海外渡航・滞在に関する注意喚起」からも分かる。海外安全情報によれば「例年、テロ

の脅威が高まる傾向があります。過去のラマダン期間中には、『イラク・レバントのイスラム国(ISIL)』が、世界中の戦闘員や支持者に対して攻撃を呼びかける声明を発出し、実際に、世界各地で多くのテロが発生しました。特に、本年は昨年十月以降のイスラエル・パレスチナ情勢を

受け、緊張が高まっていることに留意する必要があります」とテロへの警戒を呼び掛けている。

ジハードが最善行

ラマダンにテロが多発するのは、イスラム教ではジハードが最善の行いとされているからだ。ジハードは「宗教のために努力する、戦う」という意味であり、イスラム支配を世界に広げるためには、ジハードと努力することであり、イスラム法学上では「イスラムのために異教徒と戦う」とされている。しかし

ラマダンの間に善行も、ラマダンの間に善行なりました。

▼職種ごとに即戦力を雇用する海外と違つて、わ

が国は実務経験のない新卒を一括採用して、経費をかけて一から教育して

きました。入社式はその象徴です。ところ

の企業でも見直しが始まりました。

▼管理職には、部下の持つ課題解決に手を差し伸べ、長所や能力を伸ばし

て、仕事でのやり甲斐を感じられるようにするこ

とが求められています。

そのためには部下にも上

司の言葉を素直に受け入れ、強い志を持つて努力

する心掛けが必要です。

「イスラム教は平和な宗教」という単純な認識か

ら脱却し、国際情勢の現

実を直視すべきだ。

すると、他の月よりも神から何十倍も高く評価されると記されている。ラマダンの月の間に異教徒を攻撃するジハードを行うことこそが最善の行いということになる。

今年も、モスクワでのテロをはじめ、すでに二百人を超える犠牲者が出

ている。遡れば、二〇一六年には過激派組織「イスラム国」系のメディアは、「ラマダン期間中に

十字軍の戦士やイスラム教シーア派など背教者を

三千二百人以上死傷させた」とインターネット上

で発表した。この中には

バンガラデシュの首都ダ

カでのレストラン襲撃

人質テロ事件も含まれ、

日本人七人を含む二十人

も、ラマダンの間に善行

流されてきた。しかし、

イスラム教徒はジハードと

してのテロを実行するこ

とは明らかだ。多くのイ

スラム教徒はジハードと

原理主義を掲げたイス

ラム過激派による人命や

人権を踏みにじるテロが

衝突を拡大し、対立の激化を招く大きな要因とな

っている。多くの日本人

は、一神教、とりわけ聖書やコーランの無謬性を

信じ、その教義に基づく

社会への復古を目指す原

則は不変であり、格言も

そのまま記憶に残ること

が多いとの対照的です。

入社式には、新卒一括

が殺害された。二〇一七年もロンドンでのテロで

七人が殺害されるなど二

百人以上が犠牲となつて

いる。

テロを産む原理主義

これまでわが国では、

イスラムや中東研究者な

どによって「イスラム教

は平和な宗教」という説

明がテレビや新聞などで

行録に記されている。ラ

マダンの月の間に異教徒

を攻撃するジハードを行

うことこそが最善の行い

あります」とテロへの警

戒を呼び掛けている。

今年も、モスクワでの

テロをはじめ、すでに二

百人を超える犠牲者が出

ている。遡れば、二〇一

六年には過激派組織「イ

スラム国」系のメディア

は、「ラマダン期間中に

十字軍の戦士やイスラム

教シーア派など背教者を

三千二百人以上死傷させ

た」とインターネット上

で発表した。この中には

バンガラデシュの首都ダ

カでのレストラン襲撃

人質テロ事件も含まれ、

日本人七人を含む二十人

も、ラマダンの間に善行

流されてきた。しかし、

イスラム教徒はジハードと

してのテロを実行するこ

とは明らかだ。多くのイ

スラム教徒はジハードと

原理主義を掲げたイス

ラム過激派による人命や

人権を踏みにじるテロが

衝突を拡大し、対立の激化を招く大きな要因とな

っている。多くの日本人

は、一神教、とりわけ聖

書やコーランの無謬性を

信じ、その教義に基づく

社会への復古を目指す原

則は不変であり、格言も

そのまま記憶に残ること

が多いとの対照的です。

入社式には、新卒一括

が殺害された。二〇一七年もロンドンでのテロで

七人が殺害されるなど二

百人以上が犠牲となつて

いる。

テロを産む原理主義

これまでわが国では、

イスラムや中東研究者な

どによって「イスラム教

は平和な宗教」という説

明がテレビや新聞などで

行録に記されている。ラ

マダンの月の間に異教徒

を攻撃するジハードを行

ることこそが最善の行い

あります」とテロへの警

戒を呼び掛けている。

今年も、モスクワでの

テロをはじめ、すでに二

百人を超える犠牲者が出

ている。遡れば、二〇一

六年には過激派組織「イ

スラム国」系のメディア

は、「ラマダン期間中に

十字軍の戦士やイスラム

教シーア派など背教者を

三千二百人以上死傷させ

た」とインターネット上

で発表した。この中には

バンガラデシュの首都ダ

カでのレストラン襲撃

人質テロ事件も含まれ、

日本人七人を含む二十人

も、ラマダンの間に善行

流されてきた。しかし、

イスラム教徒はジハードと

してのテロを実行するこ

とは明らかだ。多くのイ

スラム教徒はジihadと

してのテロを実

〈天録時評〉

エネルギー基本計画の改定に向けて④

電源投資促進へ魅力的な施策を

官民の役割分担を見直す好機

原子力政策=後編=

世界的に「原子力回帰」の流れが顕著になつてゐる。象徴的なのが、欧州議会が一昨年、持続可能な経済活動を分類する制度の「EUタクソノミー」に原子力を含める案を可決・承認したことだ。原子力発電は発電時に温室効果ガスを排出しないクリーンなエネルギーとして、投資が容認され、民間金融機関からの融資を促進する政策をとつたものだ。また、昨年末、ドバイで開催された国連の気候変動枠組条約第二十八回締約国会議(COP28)の成果文書には「化石燃料からの移行」が呼びかけられ、その手段の一つに「原子力発電」が初めて書き込まれた。さらに、日本をはじめとする米英仏など二十二カ国が「世界の原子力発電容量を三倍に増加させる」との野心的な宣言文書に署名した。こうした中、資源小国のが国が「安全を最優先に原子力を最大限活用する」ことは至極妥当なことだ。しかし、それを実現するには、原子力発電所を建設する電力事業者の投資意欲を促進する制度の整備が不可欠となる。

電源投資への魅力的な制度を

原子力発電は、発電時に温室効果ガスをほとんど排出せず、燃料を装填すれば約三年間は発電に利用でき、天候や燃料価格等に左右されないなど多くの利点がある。一方、課題は、放射線の管理や使用済燃料の処理などがあるほか、発電所の建設費が膨大な額になることがある。特に、東京電力・福島第一原子力発電所（以下、福島第一）の事故後、新規制基準に適合するための追加的な安全対策が必要となり、

収入が見込めるので、投資予見性を高められるとの期待がある。

ただ、本当に電源への投資を促すほどの魅力的な制度かと言えば、すでに疑問の声がある。例えば、①予備費として建設費の一〇%が織り込まれているが、将来の金利・物価上昇、規制対応等に備えるには十分とは言えない、②計画から建設までの期間が長期化するなか、収入が得られるのはならない。いきおい、事業者は新規の投資に慎重になり少なくとも二千億円にもなるとも言われる。

電力自由化の前の総括原価方式（資金調達コストを含むすべての費用を上乗せして電気料金を決める方法）の時代であれば、安定的な費用回収が望め、その裏付けがあるので金融機関からの資金調達も比較的円滑に行えた。しかし、発電や小売さらに発送電分離という自由化の中では、電力の卸売価格は不安定な市場に委ねることになり、建設費を回収するための長期収入予測をしなくては

その上、経営層の責任を追及する裁判が繰り返されている現状では、新規投資が停滞することでの決断を経営層が渋るのも仕方なく、金融機関も新たな原子力発電所建設への長期融資に消極的にならざるを得ない。

原子力を扱う事業者が安全対策に万全を尽くすことには当然だが、現行の原子力損害賠償制度を見直すことでも選択肢の一つだ。原子力を推進する諸外国でも、免責事由に厳格な制限はあるが、わが国のように事業者に無限責任を課してはおらず、有限責任が主流である。

事業者は有限責任とし、最終的には国が賠償の責

任を負うことを明確にすれば、立地自治体の安心につながるし、事業者の投資判断を後押しされるとともに金融機関からの円

も倒産する危機に陥ってしまうという実態を示しきともなる。

滑な資金調達に寄与する

国と事業者の明確な役割分担こそ

が定められているが、福島第一の事故は人災とされ明確な判断基準が示されないまま、十兆円をかけている。国が政策をとっている。国が政策を示し、民間の電力事業者が事業を推進するといふものだ。これに対し、東京電力が半官半民の状態に置かれている。

電力トップ企業である東京電力が半官半民の状態に置かれている。

超える賠償を負わされ、

電力トップ企業である東京

〈天録時評〉

ワクチン接種と副反応の因果関係の解明を

より安全なmRNAワクチンの開発へ

メッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンの安全性を巡り、免疫学の専門家の間でも論争が続いている。ワクチンへの不信が高まれば、日本脳炎ワクチンなどで接種率の大幅な低下を招いたように、新たな感染症で犠牲者増を招く。一方、癌や難病治療で最適な個別医療を可能にするmRNA薬の開発が期待されている。それだけにmRNAワクチンの接種後の死亡や副反応との因果関係を調査する病理解剖や疫学調査が必要だ。

脅威は沈静化

令和元年(2019)

の十二月に、中国・武漢で報告された病因不明の肺炎から検出された新型コロナウイルス(SAR-CoV-2)による

新型コロナ感染症(COVID-19)は、その後アルファ・ベータ・ガンマ株から、さらには感染

マ株から、さるには感染

アルファ・ベータ・ガンマ株から、さるには感染

マ株から、さるには感染

の宣言を終了すると
発表した。ただし、新型コロナウイルスは依然として大きな脅威だと警告し、対応は各国の対策に委ねられた。

わが国は、昨年五月に感染症法上の扱いを「5類」とし、患者や医療機関への財政支援を段階的に縮小してきた。さらにコロナの感染者数も減少したのを受けて、厚生労働省は支援策を三月末で打ち切った。四月からは季節性インフルエンザと同様の対応で、治療薬やワクチンの接種も自己負担となり、新型コロナ感染症は一定の状態に落ち込み、死亡者も減少し、軽症者や無症状者が増え、脅威は鎮静化してきた。

しかし、昨年の初め頃から死亡者も減少し、軽症者や無症状者が増え、脅威は鎮静化してきた。

こうした状況を受けて、世界保健機関(WHO)は昨年五月五日に、新型コロナウイルス感染症に対する対策の検証が必要だ。

関する「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了すると

新型コロナ感染症対策では様々な課題が残つて

いるが、ワクチンを巡る論争が続いている。「ワ

クチン接種は感染予防に役に立たず、むしろ死者が増加している」と接種中止を求める反ワクチン派の免疫専門家などもいた。ワクチン接種をためらう国民が増えた。

わが国ではワクチン接種の副反応の疑いがあるとして昨年四月三十日までに二千七十五人の死亡者が厚労省に報告されており。死亡例は医療機関による。死亡例は医療機関による。

mRNAは体内で分解され、ワクチン接種を受けた結果はワクチンへの疑念を高めてしまふ。

今回初めて実用化されたmRNAワクチンは、これまでの医学はもとより分子生物学や遺伝子工学などの研究成果だ。生きて

いる限り人の体内で

本とも言われる仕組みで「セントラルドグマ」と呼ばれている。

mRNAワクチンは、この仕組みを利用したも

のだ。コロナウイルスのスパイク蛋白質の遺伝子

により評価できない」が

二千六十二人となつた。

死因調査のために解剖されたのが一割程度にとどまっていることも情報不足の原因の一つだ。

しかし、解剖検査した病理医が死因として接種

によって制御性T細胞が活性化し、免疫異常を招

きる可能性が指摘されて

いる。あるいは、スパイ

ク蛋白質の細胞内の產生

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

さらにには、ワクチンを接種する細胞が免疫系から異なる細胞が免疫系から異物と認識され、攻撃を受ける可能性が指摘されて

いる。あるいは、スパイ

ク蛋白質の細胞内の產生

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

本とも言われる仕組みで

「セントラルドグマ」と

呼ばれている。

mRNAワクチンは、この仕組みを利用したも

のだ。コロナウイルスのスパイ

ク蛋白質の遺伝子

により評価できない」が

二千六十二人となつた。

死因調査のために解剖さ

れたのが一割程度にとど

まっていることも情報不足の原因の一つだ。

しかし、解剖検査した病理医が死因として接種

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

さらにには、ワクチンを接種する細胞が免疫系から異物と認識され、攻撃を受ける可能性が指摘されて

いる。あるいは、スパイ

ク蛋白質の細胞内の產生

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

本とも言われる仕組みで

「セントラルドグマ」と

呼ばれている。

mRNAワクチンは、この仕組みを利用したも

のだ。コロナウイルスのスパイ

ク蛋白質の遺伝子

により評価できない」が

二千六十二人となつた。

死因調査のために解剖さ

れたのが一割程度にとど

まっていることも情報不足の原因の一つだ。

しかし、解剖検査した病理医が死因として接種

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

さらにには、ワクチンを接種する細胞が免疫系から異物と認識され、攻撃を受ける可能性が指摘されて

いる。あるいは、スパイ

ク蛋白質の細胞内の產生

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

本とも言われる仕組みで

「セントラルドグマ」と

呼ばれている。

mRNAワクチンは、この仕組みを利用したも

のだ。コロナウイルスのスパイ

ク蛋白質の遺伝子

により評価できない」が

二千六十二人となつた。

死因調査のために解剖さ

れたのが一割程度にとど

まっていることも情報不足の原因の一つだ。

しかし、解剖検査した病理医が死因として接種

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

さらにには、ワクチンを接種する細胞が免疫系から異物と認識され、攻撃を受ける可能性が指摘されて

いる。あるいは、スパイ

ク蛋白質の細胞内の產生

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

本とも言われる仕組みで

「セントラルドグマ」と

呼ばれている。

mRNAワクチンは、この仕組みを利用したも

のだ。コロナウイルスのスパイ

ク蛋白質の遺伝子

により評価できない」が

二千六十二人となつた。

死因調査のために解剖さ

れたのが一割程度にとど

まっていることも情報不足の原因の一つだ。

しかし、解剖検査した病理医が死因として接種

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

さらにには、ワクチンを接種する細胞が免疫系から異物と認識され、攻撃を受ける可能性が指摘されて

いる。あるいは、スパイ

ク蛋白質の細胞内の產生

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

本とも言われる仕組みで

「セントラルドグマ」と

呼ばれている。

mRNAワクチンは、この仕組みを利用したも

のだ。コロナウイルスのスパイ

ク蛋白質の遺伝子

により評価できない」が

二千六十二人となつた。

死因調査のために解剖さ

れたのが一割程度にとど

まっていることも情報不足の原因の一つだ。

しかし、解剖検査した病理医が死因として接種

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

さらにには、ワクチンを接種する細胞が免疫系から異物と認識され、攻撃を受ける可能性が指摘されて

いる。あるいは、スパイ

ク蛋白質の細胞内の產生

によって制御性T細胞が

活性化し、免疫異常を招

きる可能性がある。

本とも言われる仕組みで

「セントラルドグマ」と

呼ばれている。

mRNAワクチンは、この仕組みを利用したも

のだ。コロナウイルスのスパイ

ク蛋白質の遺伝子

により評価できない」が

二千六十二人となつた。

死因調査のために解剖さ

れたのが一割程度にとど

まっていることも情報不足の原因の一つだ。

しかし、解剖検査した病理医が死因として接種

によって制御性T細胞が

〈天録時評〉

税の優遇を止め、禁煙、こそ推奨せよ

害の低減にならない「加熱式タバコ」

禁煙はできないが、健康被害を防ぎたい人による加熱式タバコの使用が増えている。また、新聞やインターネットには加熱式タバコの広告が溢れ、政府も加熱式タバコの使用拡大を容認している。しかし、加熱式タバコの使用で健康被害を低減できることは科学的に証明されていない。WHOは有害であると明確に指摘している。国民の健康を維持していくために、政府は加熱式タバコの税優遇を止め、禁煙を推奨すべきだ。

害は低減しない

国民の健康志向の高まりなどにより年々喫煙率が低下していく中、加熱式タバコの使用者数は増えている。加熱式タバコ情報の発信などをを行う有

限会社オーバーロードが運営するウェブメディア「RELAZO」が今年一月に行つた調査によると、喫煙者の約三六%が加熱式タバコを使用している。そのうち、三十代は約四九・九%と喫煙者

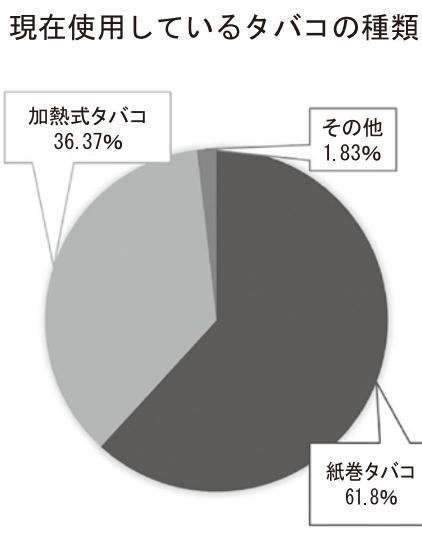
の約半数が使用しており二十代の女性に至つては約六一%の人が使用している。

加熱式タバコは、タバ

コ葉を加熱してニコチンなどを含む蒸気を発生させ、それを吸引する仕組みになっている。紙巻タバコのようにタバコ葉を燃やさないため、煙や灰が出ず、匂いも少なく、周囲へ迷惑をかけにくく

という特徴があることか

ら、加熱式タバコの使用率を高めている。



世界保健機関（WHO）

現在使用しているタバコの種類

人が紙巻タバコを止め、煙のない未来へ前進する道を選んでいます」と加熱式タバコの販売促進の

ための広告が掲載された。このような広告が掲載されるようでは、厚生省が進める「健康日本21」などの健康促進政策は進まない。

二〇二〇年の診療報酬改定では、加熱式タバコ使用者も健康保険による

働きかけを行うよう勧告している。タバコによる健康被害を防ぎたいのであれば、禁煙が最善の方

法である。

また、加熱式タバコは紙巻タバコよりも、ニコチンやホルムアルデヒドといった有害物質が少ないといわれている。そのため、禁煙したいが長続き

せず、タバコを止められないような人で、タバコによる健康被害を防ぎた

い人が、紙巻タバコから加熱式タバコに変えてい

るようだ。

しかし、加熱式タバコはタバコ葉を使用している点において紙巻タバコと何ら変わりはない。低減するとはい、加熱によつて発生する蒸気中には、健康を害するに有り余る量の有害物質が含まれていることも分かつて

いる。日本医師会を始めとする医療関係者も、加熱式タバコでの「ハームリダクション（害の低減）」に否定的だ。

O) も、加熱式タバコは有害物質の排出量が少ないと、無害であるとか利用者に健康影響がないことを証明するものではないことを改めて強調し、あらゆる種類のタバコ使用を中止する

紙巻タバコから加熱式タバコへの移行を阻害しかねないと考えてい

るためだ。

しかし、税優遇の維持は、加熱式タバコの税優遇の維持を訴えている。

また、健康被害を低減させるた

めの、紙巻タバコから加

熱式タバコへの移行を阻

害しかねないと考えてい

るためだ。

しかし、税優遇の維持

は、国民の健康を損なう

誤った政策と指摘せざるを得ない。そもそも、わ

が国は医療費が増え続け

ている。その医療費を賄

つっているのは税金と保

料だ。防衛費の財源確保

を目指すのならば、政府

が喫煙対策を行つて喫煙

で肺に持続的な炎症が生

じる慢性閉塞性肺疾患

(COPD)などの病気

に罹る国民を減らし、医

療費を削減し、それを防

衛費に充てていく方が望

ましい。病気になる人が減れば、それだけ健康寿

命が延伸し、現役で働き

続ける人も増え、國

の税収も増える。

大切なのは、国民の健

康維持である。そのため

には、政府は加熱式タバ

コの税優遇を廃止し、健

康リスクの低減に繋がら

ないハームリダクション

の推進を止め、禁煙を促

進していくべきだ。

これに対し、自民党議員で構成されている「国

民の健康を考えるハーム

リダクション議員連盟」

は、加熱式タバコの税優

遇の維持を訴えている。

加熱式タバコの税優遇が

無くなれば、喫煙による

健康被害を低減させるた

めの広告が掲載され

ていた。こののような広告が

掲載されるようでは、厚

生省が進める「健康日本

21」などの健康促進政策

は進まない。

二〇二〇年の診療報酬改定では、加熱式タバコ使用者も健康保険による

働きかけを行うよう勧告

している。タバコによる

健康被害を防ぎたいので

あれば、禁煙が最善の方

責任だ。加熱式タバコの

広告掲載は禁止すべきで

ある。

責任だ。加熱式タバコの

広告掲載は禁止すべきで

投稿

自民党青年局の懇親会から「多様性」を考える

弁護士・産業医 敷本 恭明

昨年十一月の自民党青年局の近畿ブロック会議後の懇親会で、肌の露出が多い女性によるダンスショーが行われ、口移しでのチップ渡しなどがあつた問題をめぐり、準備した自民党的青年局長が離党しました。彼は、多様性をテーマに、いろんな職業も含めて頑張っている方々に目が行き届いているかの問題提起をしたかったとのことです。これに対し、岸田首相は「内閣の目指す多様性とは合致しない」と苦言を呈しました。今回は「多様性」についてほんの少し考えてみたいと思います。

西洋の台頭と多様性

多様性という言葉を聞くと、シカゴ大学のマニクール名誉教授の『世界史』という本を思い出します。これは「西欧の台頭」の要因を探る内容で、ベストセラーとなりました。

民主制と多様性

ラム文明が世界の最先端だったのですが、急速にキリスト教圏である西欧が世界を席巻しました。その理由として、西欧が多様性を認める文化になつたからだとマニクールは指摘しています。「普遍的な真理を発見し、強調するのではなく、ヨーロッパの人々は、意見を異にするという点で意見を一致させることができた。(略) このような多

様性こそ、ヨーロッパの思想が、我々の現代にまでも継続してきわめて急速に進歩することを保証したのである」(『世界史・下』七十八頁、中公文庫)。

ただし、彼がいう多様性は、キリスト教の枠の中での話です。

恐ろしいアノミー

漢字の「自由」は、自らの行動には由縁・理由がある、自然にいわれが

あります。自分が必ずしも賢いわけではありません。自分は間違っていると思

うこともあります。自分が必ずしも賢いわけではありません。みんなの意見

を持った他者に、心に怒り

があります。

多様性を口にしながら

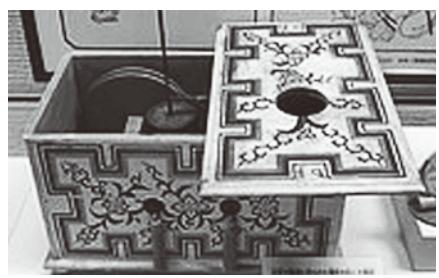
自分と違う意見や考え方

を持つ他者に、心に怒り

があります。

多様性を口にしながら

自分と違う意見



平賀源内作のエレキテル

平賀源内と言えば、多くの人は「エレキテルの発明家ですね」と答えるが、正解ではない。正確に言えば、エレキテルとはオランダで作られた静電気発生装置のことであり、発電機と言えないこともない。形状は箱の中

平賀源内が讚岐国で生を受けたのは八代将軍吉宗の時代だ。幼い頃から利発で、カラクリなどで大人を驚かせた。高松藩藩主にその才能を認められ、破格の長崎遊学を許され、西洋文明に触れた源内は、わが国の学問や産業のあり方を考えるようになつた。江戸に出た源内は、外国の物産に対抗する国产品を見出すために、全国規模の「薬品会」を主催し大成功することを挙げた。

エレキテルの源内

平賀源内は、享保十三年（一七二八）に現在のさぬき市で生まれ、幼少時から「天狗小僧」と呼ばれ、辺りに知れ渡つていた。十一歳の時、悪戯半分で「御神酒天神」掛け軸を作ったのが評判にな

った。絵に描いた天神さんの顔を透明にして、背後に肌色と赤色の紙を交互に出し入れするという単純な仕掛けだが、「天神さんがお酒を飲んで赤くなる」というので見る者が驚いた。その噂が高松藩上層部に届き、十三歳で藩医の下で本草学（薬用となる植物等の研究）や儒学を学ぶ機会を与える。また、源内は自由な雰囲気の俳諧仲間に出入りして早熟な才少女として育つていく。

転機が訪れたのは、父白石（本姓）茂左衛門の死で高松藩の蔵番役となつた。長崎からの帰藩

型破りの天才

後、量程器（万歩計）や磁針器（方角を測定する道具）などを製作したのが、宝暦六年（一七五六年）頃、源内は意を決して江戸に下り、本草学の都薬品会を開催を提案する。殖産興業のために日本国内のどこに、どんな名産品があるか調べた上

で収集するという、前代未聞の企画案であった。田村は誰も考え及ばない天才的発想に驚きの色を隠さなかつたが、企画の趣旨を理解し、全面的に人生の進む方向を決めさせた。本草学を独自に追及し、初めてオランダ語と医学に触れ、学び、油絵などの西洋絵画を手当たり次第に実践体験して、それが文化的衝撃を受けた。それだけではない。オランダ文化との落差、対外交易における輸入超過の現実に絶望した。それから輸入品に対抗できる国产品は開発できないか、輸出を企画するのは無駄な事業はないのか、の答えを求める人生となつた。

遊学から二年後、江戸に出て、役目を辞し、妹に婿養子を迎えて家督を承継した。翌宝暦八年には神田で「第二回東都薬品会」が開かれ、順次、第三回、第四回、第五回と回を重

平賀源内が讚岐国で生を受けたのは八代将軍吉宗の時代だ。幼い頃から利発で、カラクリなどで大人を驚かせた。高松藩藩主にその才能を認められ、破格の長崎遊学を許され、西洋文明に触れた源内は、わが国の学問や産業のあり方を考えるようになつた。江戸に出た源内は、外国の物産に対抗する国产品を見出すために、全国規模の「薬品会」を開催し大成功することを挙げた。

そのまま高松藩の改革要員になればいいものを宝暦二年（一七五二）、わずか一年間の長崎遊学体験であつたが、これがその一環だった。そこで、國学者として正式に賀茂真淵の門人となつたのは遅く、宝暦十三年（一七六三）の九月、三十五歳の時だからである。第五回東都薬品会の翌年である。一定の活動成果を積み重ねた後の事だ。どういう対面の儀式があつたものか。史料的に確かめる術はない。

哲学的に思惟し、抽象的な世界を放浪するよりも具体的、現実的な世界でモノづくりのために頭を使い、手を動かして、物理的な法則を応用、活用することで才能を發揮する源内である。文学中心に國のあり方を求めた賀茂真淵とどこまで接点があるのかどうか、定かではない。源内流国学と言えるもののかどうか、それは分からぬが、国学が日本の精神文化を求めていた研究とは底流で通じていたよう気がする。

ねる毎に全国で開催されるようになつていった。そして、逐次「紀州産物志」「物類品隠」などの物産紹介情報誌も出版。物流発展の情報流通、宣伝活動でも手掛けるようになる。まさに源内の起業促進、産業興業事業であつた。

そこで、國学者として正式に賀茂真淵の門人となつたのは遅く、宝暦十三年（一七六三）の九月、三十五歳の時だからである。第五回東都薬品会の翌年である。一定の活動成果を積み重ねた後の事だ。どういう対面の儀式があつたものか。史料的に確かめる術はない。

哲学的に思惟し、抽象的な世界を放浪するよりも具体的、現実的な世界でモノづくりのために頭を使い、手を動かして、物理的な法則を応用、活用することで才能を發揮する源内である。文学中

心に國のあり方を求めた賀茂真淵とどこまで接点があるのかどうか、定かではない。源内流国学と言えるもののかどうか、それは分からぬが、国学が日本の精神文化を求めていた研究とは底流で通じていたよう気がする。

平賀源内（上）



西洋越えを目指して殖産興業に取り組む全国規模の物産展を開催し国産品を発掘歴史家 鈴木 旭

サトウキビ栽培に力を入れていた。薬草園経営もその一環だった。そのまま高松藩の改革要員になればいいものを宝暦二年（一七五二）、わずか一年間の長崎遊学体験であつたが、これが

人生の進む方向を決めさせた。本草学を独自に追及し、初めてオランダ語と医学に触れ、学び、油絵などの西洋絵画を手当たり次第に実践体験して、それが文化的衝撃を受けた。それだけではない。オランダ文化との落差、対外交易における輸入超過の現実に絶望した。それから輸入品に対抗できる国产品は開発できないか、輸出を企画するのは無駄な事業はないのか、の答えを求める人生となつた。

遊学から二年後、江戸に出て、役目を辞し、妹に婿養子を迎えて家督を承継した。翌宝暦八年には神田で「第二回東都薬品会」が開かれ、順次、第三回、第四回、第五回と回を重

なづた時である。藩主松平頼恭が「藏番にしておくのは勿体ない」と薬草園の世話を立てるため、米作中の転機になつた。頼恭は財政改革のため、米作中の転機になつた。頼恭は

工具）などを製作していたが、宝暦六年（一七五六年）頃、源内は意を決して江戸に下り、本草学の都薬品会を開催を提案する。殖産興業のために日本国内のどこに、どんな名産品があるか調べた上で収集するという、前代未聞の企画案であった。田村は誰も考え及ばない天才的発想に驚きの色を隠さなかつたが、企画の趣旨を理解し、全面的に人生の進む方向を決めさせた。本草学を独自に追及し、初めてオランダ語と医学に触れ、学び、油絵などの西洋絵画を手当たり次第に実践体験して、それが文化的衝撃を受けた。それだけではない。オランダ文化との落差、対外交易における輸入超過の現実に絶望した。それから輸入品に対抗できる国产品は開発できないか、輸出を企画するのは無駄な事業はないのか、の答えを求める人生となつた。

遊学から二年後、江戸に出て、役目を辞し、妹に婿養子を迎えて家督を承継した。翌宝暦八年には神田で「第二回東都薬品会」が開かれ、順次、第三回、第四回、第五回と回を重

なる権などの換金作物栽培を奨励し、瀬戸内海の心から木綿、紙の材料となる繊維栽培に力を入れていた。薬草園経営もその一環だった。

そのまま高松藩の改革要員になればいいものを宝暦二年（一七五二）、わずか一年間の長崎遊学体験であつたが、これが

人生の進む方向を決めさせた。本草学を独自に追及し、初めてオランダ語と医学に触れ、学び、油絵などの西洋絵画を手当たり次第に実践体験して、それが文化的衝撃を受けた。それだけではない。オランダ文化との落差、対外交易における輸入超過の現実に絶望した。それから輸入品に対抗できる国产品は開発できないか、輸出を企画するのは無駄な事業はないのか、の答えを求める人生となつた。

遊学から二年後、江戸に出て、役目を辞し、妹に婿養子を迎えて家督を承継した。翌宝暦八年には神田で「第二回東都薬品会」が開かれ、順次、第三回、第四回、第五回と回を重

なる権などの換金作物栽培を奨励し、瀬戸内海の心から木綿、紙の材料となる繊維栽培に力を入れていた。薬草園経営もその一環だった。

そのまま高松藩の改革要員になればいいものを宝暦二年（一七五二）、わずか一年間の長崎遊学体験であつたが、これが

人生の進む方向を決めさせた。本草学を独自に追及し、初めてオランダ語と医学に触れ、学び、油絵などの西洋絵画を手当たり次第に実践体験して、それが文化的衝撃を受けた。それだけではない。オランダ文化との落差、対外交易における輸入超過の現実に絶望した。それから輸入品に対抗できる国产品は開発できないか、輸出を企画のは

められない。源内流国学と言えるもののかどうか、それは分からぬが、国学が日本の精神文化を求めていた研究とは底流で通じていたよう気がする。

遊学から二年後、江戸に出て、役目を辞し、妹に婿養子を迎えて家督を承継した。翌宝暦八年には神田で「第二回東都薬品会」が開かれ、順次、第三回、第四回、第五回と回を重

なる権などの換金作物栽培を奨励し、瀬戸内海の心から木綿、紙の材料となる繊維栽培に力を入れていた。薬草園経営もその一環だった。

そのまま高松藩の改革要員になればいいものを宝暦二年（一七五二）、わずか一年間の長崎遊学体験であつたが、これが

人生の進む方向を決めさせた。本草学を独自に追及し、初めてオランダ語と医学に触れ、学び、油絵などの西洋絵画を手当たり次第に実践体験して、それが文化的衝撃を受けた。それだけではない。オランダ文化との落差